

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

新明和工業株式会社
特装車事業部広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市八本松西7-1-13

(3) 業種

3112 自動車車体・附随車製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和4年度を基準年度とし、令和5年度から令和7年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

「環境基本方針」

1. 事業活動、製品及びサービスが、環境にどのような影響を与えているのかを的確に評価し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標及び実施計画を定め、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善を図る。
2. 環境側面に適用可能な法的要求事項、及び組織が認めるその他の要求事項の順守に、努める
3. 特に、次の事項を共通の重点課題テーマとする。
 - ①地球温暖化防止推進としてCO2排出量削減のために省エネルギーの促進を図る。
 - ・事務/生産部門において省エネを重点に取り組む。
 - ②資源の有効利用のため、廃棄物削減の推進を図る。
 - ・場内廃棄物の発生量の抑制に努める。
 - ・廃棄物の管理と適切な処理を推進する。
 - ③製品の環境負荷を低減するために、製品環境アセスメントに積極的に取り組む。
 - ・計画的に製品環境アセスメント対象を拡大し、アセスメント合格製品の拡大を図る。
4. 全従業員の環境に対する意識向上を図るため教育及び広報活動を行う。
また、環境方針は職場等に掲示し、周知させる。
5. この方針は利害関係者に入手可能とする。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和4年度	令和4年度
二酸化炭素	4,727	4,727

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 年度)	削減目標		目標年度 (令和 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 新作業高(百万円)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和4年度)		原単位 削減目標	削減率 (d)	基準年度 (令和7年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)			原単位 (c)	排出・ 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)
エネルギー起源CO ₂	3,470	4,654	0.746	3.0	3,366	4,654	0.723
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k 1)	1,500	4,654	0.322	3.0	1,455	4,654	0.313
目標設定の考え方	エネルギー使用原単位 (CO ₂ 換算) として原単位ベースで年1%の削減。						

※ 削減率 (d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー使用量 (CO2換算) 一新作業高原単位の削減	原単位ベースで前年比1%の削減	本業を通じた生産性及び作業効率向上による省エネ改善 ○場内不良削減、生産能力管理、場外不良の削減
2			老朽設備更新時の省エネ化 ○コンプレッサーの更新
3			省エネを目的とした設備導入 ○ブース運転制御による省エネ ○太陽光発電導入の検討
4			節電の強化 ○空調器の室温設定等、集中管理を実施

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

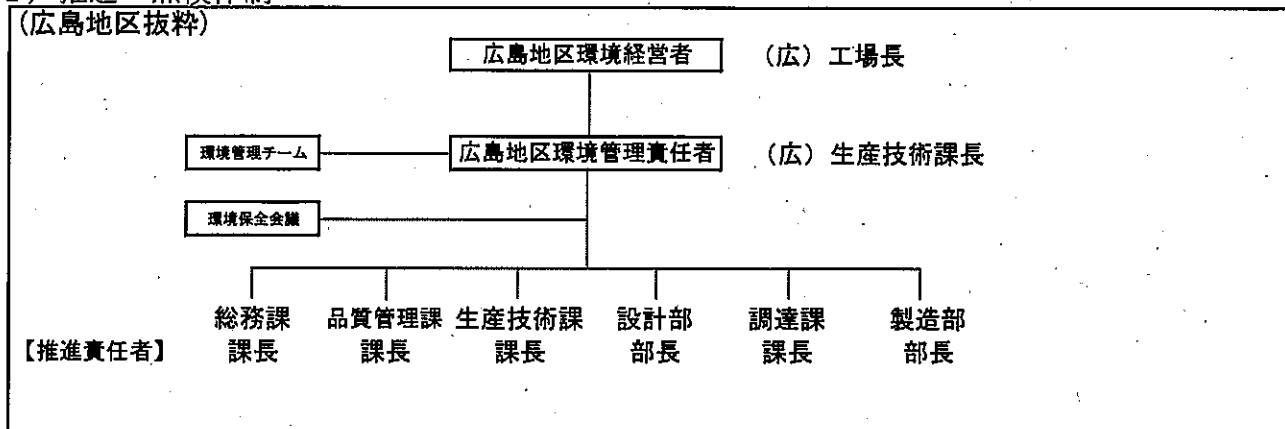
	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物発生量原単位の削減	原単位ベースで前年比1%の削減	○木パレ、金属屑、コピー用紙削減 ○廃プラスチックの分別強化 ○有価物化の推進
2	上水使用量原単位の削減	原単位ベースで維持管理	○塗装用上水使用量の管理
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

(広島地区抜粋)



(2) 実施状況の点検・評価

事業部全体で登録されているISO14001環境マネジメントシステムに基づき、1回/四半期、環境保全会議においてエネルギー削減計画の取り組み状況の把握点検を行い、定期的に評価、見直しを行い、スパイラルアップを図る。

(3) 計画書等の公表

ISO14001環境マネジメントシステムに基づき、環境方針を公表する。